

展開する事業群(3-2-1)

基本目標	3	子どもが安心して暮らし、育つことができる環境づくり
施策目標	(2)	生活環境の整備による子育ての支援
基本施策分野		豊かな自然の活用と保全

事業名称	事業内容(細事業)	担当課	事業年度	20年度実績	19年度実績	18年度実績	17年度実績
自然体験活動等の促進	自然体験活動の促進 (新甘南備山生活環境保全林の拡充など)	農政	H17～21	新甘南備山生活環境保全林の維持管理を行い、水晶谷の崩壊防止工事を実施した。	新甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。	新甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。	新甘南備山生活環境保全林の維持管理を行った。
	野外活動のつどい (再掲2-(1)- )	社会体育	H17～21	10月5日 参加者 219人	10月1日 参加者 212人	10月1日 参加者 212人	(再掲2-(1)- )
	子どもの日(野外活動に親しむ日)無料開放 (再掲2-(1)- )	社会体育	H17～21	5月18日 参加者 398人	5月21日 参加者 295人	5月21日 参加者 260人	(再掲2-(1)- )
	土曜わくわく体験教室 (再掲2-(1)- )	社会体育	H17～21	全 40回 1793人	全 38回 1607人	全 38回 1607人	(再掲2-(1)- )
	学校田、学級園等での野外活動体験活動の推進	学校教育	H17～21	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。	各小学校で総合的な学習、特別活動の時間の中で実施。
自然観察会の実施	自然観察会の実施	環境	H17～21	きょうたなべ環境市民パートナーシップの取り組みの一つとして、自然観察の取組(ホタルを見守る取組、里山整備における植物観察、エコウォーキング)を実施	きょうたなべ環境市民パートナーシップとホタルを見守る取組を実施。また、里山再生に向けた取組の中で植物観察などを実施	きょうたなべ環境市民パートナーシップとホタルを見守る取組を実施。また、里山再生に向けた取組の中で植物観察などを実施	未実施
水と緑のネットワークの推進	広幅員道路や河川を利用した線的緑化と自歩道のネットワーク化	建設部政策推進	H17～21	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。	河川整備と連携した取り組みのため、現在河川整備中である。
緑化の推進	誕生記念樹配布の実施	施設管理	H17～21	H.20年11月に126人、H.21年3月に127人、合計253人に配布。	H.19年11月に133人、H.19年3月に126人 合計259人に配布。	H.18年11月に126人、H.19年3月に134人 合計260人に配布。	H.17年11月に 119人、 H.18年3月に 125人 合計244人 配付を行った。
	市民記念植樹祭の実施	施設管理	H17～21	H20年4月26日実施。抽選会で決定した12組が記念植樹を行った。	H.18年4月に 12組が記念植樹を行った。	H.18年4月に 15組が記念植樹を行った。	H.17年4月に 13組が記念植樹を行った。
美化意識向上のための啓発	市民一斉清掃の推進	環境	H17～21	2回実施(延べ48団体)、参加者15,455人	2回実施(延べ45団体)、参加者13,388人	2回実施(延べ48団体)、参加者12,924人	2回実施 延べ 47団体 参加者 12,586人
	美化啓発看板の設置	環境	H17～21	不法投棄防止看板20枚を制作	不法投棄防止看板50枚を制作	不法投棄防止看板100枚を制作	市内不法投棄箇所 5カ所に設置した。
	空き地除草の指導	環境	H17～21	市内160箇所の空き地の除草指導を実施	市内160箇所の空き地の除草指導を実施	市内160箇所の空き地の除草指導を実施	市内 186カ所の空き地の除草指導を行った。
市民環境セミナーの実施	市民環境セミナーの開催	環境	H17～21	1回開催(3月1日、参加者 約60人)	1回開催(2月24日、参加者 約80人)	1回開催(2月24日、参加者 約80人)	1回開催(参加者 約100人)

循環型社会の構築	ごみの分別収集の徹底 (ごみ収集カレンダー、広報紙、ホームページ等により告知し、ごみの分別を周知徹底)	清掃衛生	H17～21	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR、ホームページによるPRなどを行った。 広報誌への掲載 3回 チラシの配布 3回	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR、ホームページによるPRなどを行った。 広報誌への掲載 5回 チラシの配布 3回	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR、ホームページによるPRなどを行った。 広報誌への掲載 8回 チラシの配布 4回	ごみ収集カレンダー、広報誌及びチラシによるPR、ホームページによるPRなどを行った。
	家庭生ごみ自家処理容器等設置費補助 (家庭から排出される生ごみを自家処理してもらうことによりごみの減量化を図る。購入金額に対して補助金交付)	清掃衛生	H17～21	補助件数 35件	補助件数 32件	補助件数 38件	補助件数 49件
	再生資源集団回収事業補助 (家庭から排出されるごみの内、再生できるごみをリサイクルしてもらうことにより、ごみの減量化を図る。リサイクル量に応じて補助金交付)	清掃衛生	H17～21	補助団体数 76団体 2,644t	補助団体数 74団体 2,673t	補助団体数 72団体 2,614t	補助団体数 67団体
	教室・講座の開催 (ごみの減量化施策、情報等についての講演等)	清掃衛生	H17～21	年間 13回の開催を行った。	年間 2回の開催を行った。	年間 1回の開催を行った。	年間 5回の開催を行った。